

高木 清隆 議員

人口減少社会に向けた

まちづくりを問う

問 経済格差に伴う学力差解消に向けた取り組みは。

答 全国学力・学習状況調査から授業作りの課題を把握し、誰もが「わかった」を実感できる授業へ改善を進める。さらに、市独自に小4と小5、中1と中2で学力調査を実施し、児童生徒の学力の遅れや課題を早期に発見し、小学校入学から中学校卒業まで一貫して指導していく体制を構築していきたい。

問 少子化対策に向けた財源の考え方は。

答 市の財政運営においては少子化対策を重点化するべき施策の一つとして捉え、産業の振興や定住促進など、税収増につながる施策により収入を増やすことで財政基盤の強化に努めたい。



学力向上推進委員会

小規模企業振興計画の策定は

問 小規模企業振興条例の制定や、小規模企業振興基本計画を策定する考えは。

答 商工団体と定期的に情報交換し、小規模事業者の要望・意見を把握するとともに、商工団体を中核として金融機関や支援機関と連携し、小規模事業者の経営支援に取り組む中で、必要であれば条例制定や計画策定を講じてまいります。

山田 貴子 議員

市制10周年記念への

取り組み

問 記念行事として松下コレクションの譲渡を受け、お茶の歴史に力を入れてPRしてはどうか。

答 袋井茶文化促進会では、松下氏とともにコレクションのリスト化を行っている。市として今後、所蔵品の活用方法について検討していきたい。

食育の一環として

問 中部学校給食センターに強化磁器食器が導入されているが、今後全ての学校に導入する計画があるか。

答 袋井学校給食センター及び浅羽学校給食センターは、建設後20年以上が経過し、施設が老朽化している。今後、施設や設備の改修に併せて、強化磁器食器の導入も検討していきたい。



強化磁器食器の学校給食

ふるさと納税の取り組みは

問 ふるさと納税の寄附額が増えている市町があるが、当市は目標額を決め、寄附額を増やす計画はあるか。

答 目標額を設定して取り組むことまでは考えていないが、ふるさと袋井の自慢となるべきものをPRし、より多くの方に寄附していただけるよう今後も努力していきたい。